

歯ぐきからの小さな SOS、見逃していませんか？

朝、歯みがきをすると、歯ブラシにうっすらと赤い血が滲む。最初は気になったけれど、痛くないし、しばらくすれば治まるからと、そのままにしていませんか？実は、それこそが「歯周病」の始まりかもしれません。

「少しの出血なら大丈夫」——そう思っている方は多いですが、歯周病は静かに進行する「沈黙の病気」です。気づいたときには、歯を支える骨が溶け始め、歯がグラつき、最後には抜けてしまうこともあるのです。ある日突然、食事のときに違和感を覚え、硬いものが噛みにくくなり、鏡を覗くと、歯ぐきが以前よりも下がっている。

そうなったときに初めて、「もっと早く気づいていれば…」と後悔する方がたくさんいます。

歯を失うことは、単に見た目の問題だけではありません。

噛む力が弱くなれば、食事が楽しめなくなる。栄養が偏れば、体調にも影響を及ぼす。

そして、失った歯を補うためには、インプラントや入れ歯といった治療が必要になり、それは時間も費用もかかるものです。

けれど、本当にそうなる前にできることがあるのです。

実際に、当院には「他の歯医者で『抜歯しかない』と言われた」という患者さんが数多く訪れています。でも、適切な治療を行うことで、歯を残せたケースがたくさんあります。

私たちは、一人ひとりの歯の状態を丁寧に診断し、できる限り歯を抜かずに治療することを大切にしています。あなたの大切な歯を守るために、最適な治療を提案させていただきます。もし、

今この文章を読んで「自分のことかもしれない」と少しでも思ったなら、まずは歯ぐきを鏡でチェックしてみてください。

赤く腫れていませんか？歯みがきをするとき、血が滲んでいませんか？最後に歯医者に行ったのはいつだったでしょうか？もし、3ヶ月以上経っているなら、それは歯周病が進行しているサインかもしれません。

実際に、以前当院に来られた40代の女性の患者さんも、毎日歯ぐきから血が出ることを「普通」だと思っていました。でも、診察を受けたときにはすでに歯を支える骨が溶け始めていたのです。「痛くなかったから大丈夫だと思っていた」と話していた彼女も、治療を続けるうちに歯ぐきの腫れが引き、出血が止まりました。

そして、こう言いました。「もっと早く来ればよかった」——この言葉を、私たちは何度も耳にしてきました。だからこそ、あなたには、手遅れになる前に、まずは一度歯ぐきの状態をチェックしてほしいのです。歯周病は、**3～6ヶ月に1回の定期検診で予防ができます。**

何も症状がなくても、検診を受けることで、見えないリスクを発見することができます。

今、あなたの歯ぐきが小さなSOSを発しているかもしれません。そのサインを見逃さず、大切な歯を守るために、ぜひ一度ご相談ください。ご予約は、お電話またはWEBから受け付けています。歯を失う前に、一歩踏み出してみませんか？